

社会資本総合整備計画

嵐山北部地区都市再生整備計画

平成 25 年 3 月 29 日

埼玉県 嵐山町

都市再生整備計画(第5回変更)

らんざんほくぶちく
嵐山北部地区

さいたま らんざんまち
埼玉県 嵐山町

平成25年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	埼玉県	市町村名	嵐山町	地区名	嵐山北部地区	面積	870 ha
-------	-----	------	-----	-----	--------	----	--------

計画期間	平成 20 年度 ~ 平成 24 年度	交付期間	平成 20 年度 ~ 平成 24 年度
------	---------------------	------	---------------------

目標

大目標：災害に強く、緑豊かで便利かつ快適な農村地域の整備

目標1：大災害時に迅速に対応できる整備を行い、住民が安心して生活できる居住環境を形成する。

目標2：通学路や幹線道路の整備を行い、子ども達が安全に通学できるなど、利便性が高い環境整備を図る。

目標3：地域住民と共にコミュニティ公園や里山公園を整備し、貴重な緑を保全する。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・現在町には給食共同調理場は2箇所が現存しているが、昭和55年に建設され、老朽化が激しく、数年前から建替え等が検討されてきた。また、地域防災計画(平成19年8月改定)においても炊き出し場所に指定されておるなど防災においても重要な役割を担っている。
- ・町役場敷地内は、同地域防災計画においては、災害対策活動拠点や災害時における集積地に指定し、本地域は勿論、町の重要な防災拠点となっている。しかし敷地内には集積地にもかかわらず、一部整備されていないままとなっている場所がある。また、備蓄倉庫においては、現在設置はされているものの、防災備品以外の備品も置かれている状態である。中越、能登半島、中越沖地震等大規模な震災時がおこった場合における対策を早急に行う必要がある。
- ・本地域は、町中央部と比較し公共施設が少なく、災害時には避難所等が役場敷地に集中する可能性がある。
- ・町では、防犯ボランティアが組織され、地域の見守り活動が活発に行われている。今後はこの活動を発展させ、自主防災組織の設立を行うことを計画しており、安心して生活できる基盤づくりを行っている。
- ・町道1-8号線は、嵐山町と滑川町を結ぶ公共施設アクセス道路として、第3次嵐山町総合振興計画(平成7年3月議会議決)より位置づけを行っている町の主要な幹線道路である。公共施設アクセス道路は、県道菅谷寄居線から県道深谷嵐山線までの整備が終了している。なお、滑川町においても数年以内には整備する方針である。
- ・既存住宅団地内には、交流する公園がなく、中心地に位置する沼を親水公園とすることが望まれている。
- ・既存住宅団地周辺地においては、平成14年より住民による里山活動が行われている。都市計画マスタープラン(平成15年3月策定)においても、里山の保全を位置づけている。
- ・七郷小学校及び玉ノ岡中学校の通学路については、歩道を整備してきたが、一部整備されていない道路がある。
- ・本地域には、地元から長年要望され、防災の観点においても整備が必要な生活道路が点在している。

課題

災害に強く、住民が安心して生活できる基盤整備を進め、住民等と共に緑を保全し、快適な環境づくりを行うことが喫緊の課題である。

- ・防災計画において、計画炊き出し能力の88%を占める給食調理場は、老朽化が激しく、早急に建替えする必要がある。
- ・役場庁舎敷地は、災害対策活動拠点及び集積地などの重要な防災拠点であるにもかかわらず、一部未整備の場所がある。
- ・嵐山町役場付近から滑川町を經由し、熊谷市や東松山市に繋がる幹線道路は、町の総合振興計画にも位置づけられており、計画的に整備する必要がある。
- ・小学校付近の町道の歩道においては、おおむね整備が終わっているが、一部整備されておらず、児童の安全のため整備する必要がある。
- ・幹線道路を結ぶ地域の生活道路は、地元から長年要望が出されており、防災や通行の安全の確保や利便性の向上のため整備する必要がある。
- ・地域住民が交流する身近で自然あふれるコミュニティ公園を親水公園として整備する必要がある。
- ・地域住民が里山として管理し、自然観察等活用を希望している荒地については、住民と共に公園として整備する必要がある。

将来ビジョン(中長期)

緑あふれ、安心して居住できる、便利で快適な農村地域の形成

- ・第4次総合振興計画後期基本計画においては、地域防災計画を見直し、より防災に強いまちづくりを行うと位置づけている。また、町道1-8号線については、基幹道路として、土地利用構想図においても位置づけている。
- ・地域防災計画は平成19年8月に改正され、給食調理場を町の重要な炊き出し施設と位置づけている。町役場及びその敷地内は、災害対策活動拠点と位置づけている。災害対策活動拠点としては、備品倉庫を整備する等位置づけている。さらに、敷地内は集積地となっており、調達した食品の集配中継地としている。
- ・本地域においては、自主的な防犯・防災活動が活発に行われており、今後も自主防災組織を設立を支援し、地域主導の安全・安心なまちづくりに取り組んでいく。
- ・安全に通学できるよう、幹線道路の通学路においては、歩道整備を進めていく。
- ・里地里山条例により、里山、ため池及び谷津田の保全を行っていく。地域住民が自主的に管理を希望している里山などは、積極的に支援していく。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性		従前値	目標値	
				基準年度			目標年度
1. 災害時の避難場所や避難路に対する満足度	%	災害時の避難場所や避難路に対する満足度	防災対策(給食調理場及び役場敷地内防災拠点整備)により、防災拠点として整備や、長年の課題であった生活道路を整備することにより、避難場所や避難路に対する満足度の向上を図る。	9.2	平成17年度	20.0	平成24年度
2. 主要県道へのアクセス時間	分	嵐山町役場から県道玉川熊谷線森林公園中央入り口交差点までの車での移動時間	滑川町から熊谷市、東松山市等への利便性を向上し、快適なまちづくりを目指す。	11	平成19年度	8	平成24年度
3. 里山への参加ボランティア数	延べ人数/年	里山公園への里山ボランティアの年間参加者数	地域住民とともに整備する里山とその公園を整備することにより、協働による緑豊かなまちづくりを行う。	0	平成19年度	250	平成24年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(大災害時に対応できる施設整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> 給食調理場は、地域防災計画において炊き出し施設と位置づけられているが、昭和55年に建設し老朽化が激しい。現在2箇所調理場が存在するが、防災活動拠点である役場庁舎敷地内に1箇所を集積することにより、より迅速で効率的な防災拠点とする。 役場庁舎敷地内は防災活動拠点であるが、一部未整備な箇所があり、総合的な拠点整備を行う。 	<p>地域創造支援事業(提案事業) 地域生活基盤整備事業(基幹事業)</p>
<p>整備方針2(歩道整備、幹線道路等の整備による安全性・利便性の向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> 主要幹線道路における通学路の歩道整備を行うことにより、児童の安全対策を図る。 総合振興計画に位置づけている主要幹線道路を整備し、利便性の向上を図る。 長年地元から要望されている生活道路を整備し、防災や交通の安全性、利便性の向上を図る。 	<p>道路整備(基幹事業)</p>
<p>整備方針3(後世に残す緑あるれるまちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存住宅団地中心部の沼を親水公園として整備し、地域のコミュニティ向上を図る。 地域住民が里山として管理を希望している荒れた山林において、住民と共に里山公園として整備する。 	<p>公園整備(基幹事業)</p>
<p>その他</p>	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	970	交付限度額	333.3	国費率	0.344
---------	-----	-------	-------	-----	-------

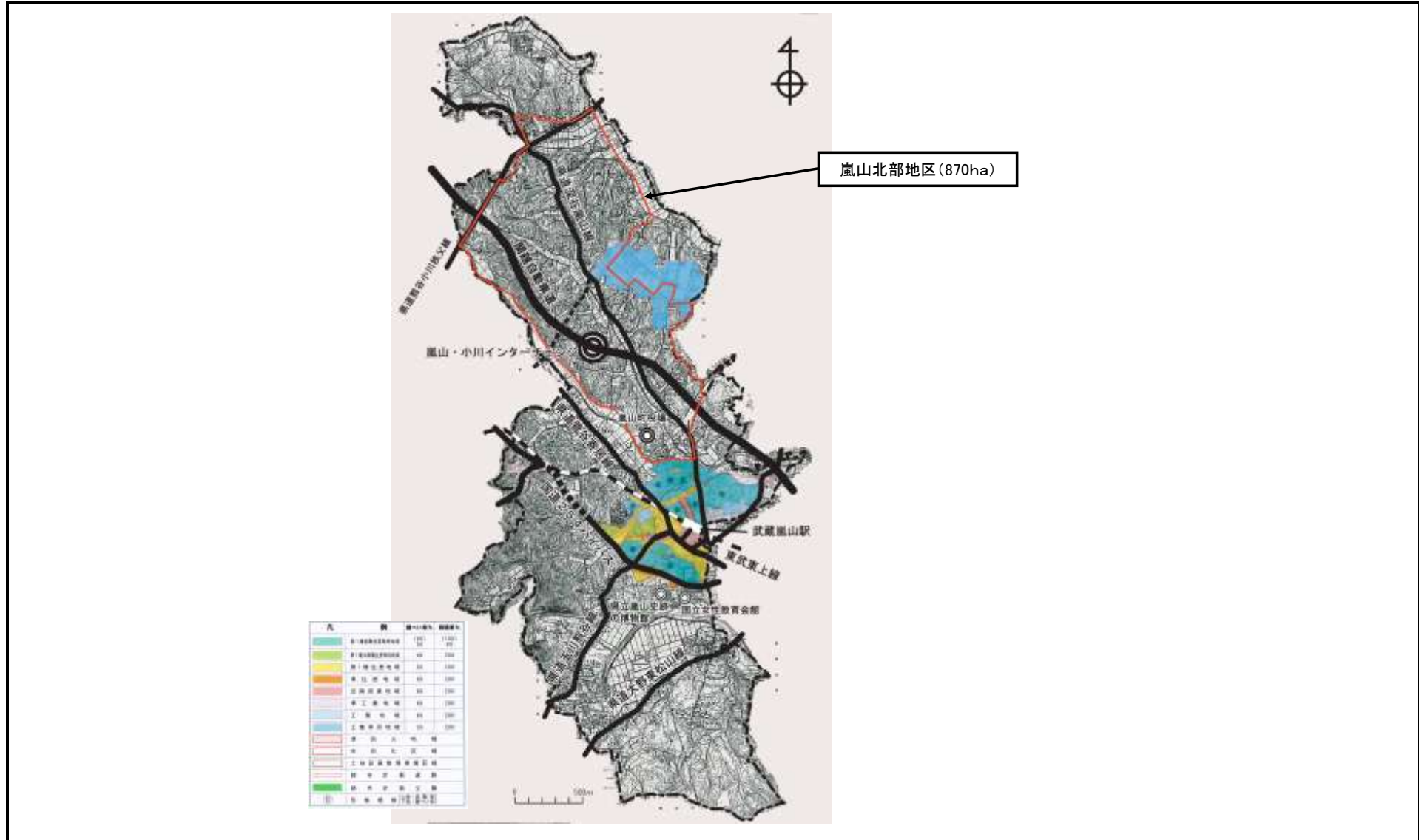
(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路		町道1-8号線	町	直	L=590m	H23	H24	H23	H24	151	151	151		151
		町道1-3号線	町	直	L=744m	H22	H24	H22	H24	130	130	130		130
		町道越畑142号線	町	直	L=225m	H22	H23	H22	H23	28	28	28		28
		町道広野94・295号線	町	直	L=278m	H20	H21	H20	H21	26	26	26		26
		町道2-14号線	町	直	L=188.6m	H23	H23	H23	H23	7	7	7		7
		町道2-7号線	町	直	L=393.5m	H20	H20	H20	H20	20	20	20		20
		町道古里7号線	町	直	L=187.2m	H20	H21	H20	H21	25	25	25		25
		町道越畑158号線	町	直	L=149m	H19	H21	H21	H21	11	10	10		10
		町道吉田300号線	町	直	L=114m	H21	H22	H21	H22	9	9	9		9
		町道古里100・110・114号線	町	直	L=290.9m	H22	H24	H22	H24	45	37	37		37
		町道1-20号線	町	直	L=225m	H23	H24	H23	H24	28	28	28		28
		町道杉山164号線	町	直	L=300m	H23	H23	H23	H23	25	25	25		25
公園		広野2区親水公園	町	直	2134㎡	H21	H22	H21	H22	31	31	31		31
		金皿山里山公園	町	直	16,645㎡	H22	H22	H22	H22	14	14	14		14
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム		—			—									
地域生活基盤施設		—	町	直	—	H21	H21	H21	H21	59	59	59		59
高質空間形成施設		—			—									
高次都市施設		—			—									
既存建造物活用事業		—			—									
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										609	600	600	0	600

…A

都市再生整備計画の区域

嵐山北部地区(埼玉県嵐山町)	面積	870 ha	区域	嵐山町大字古里、吉田、越畑、勝田、広野、杉山、花見台の各一部
----------------	----	--------	----	--------------------------------



嵐山北部地区(埼玉県嵐山町) 整備方針概要図

目標	災害に強く、緑豊かで便利かつ快適な農村地域の整備	代表的な指標	災害時の避難場所や避難路に対する満足度 (％)	9.2	(平成17年度) →	20	(平成24年度)
			主要県道へのアクセス時間 (分)	11	(平成19年度) →	8	(平成24年度)
			里山への参加ボランティア数 (延べ人数/年)	0	(平成19年度) →	250	(平成24年度)

